

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

ニッペ 水性2液形セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料
パーフェクトセラミックトップG

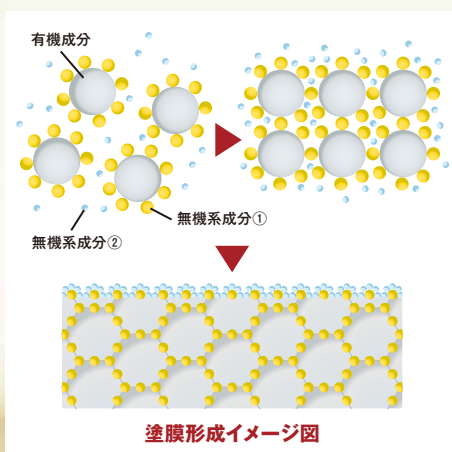
パーフェクトシリーズ究極の塗料で
キラキラ輝く強靱なお住まいに

PERFECT
S SERIES 
パーフェクトシリーズ®

住まいの「美観」をまもり「寿命」も 延ばすハイグレード塗料

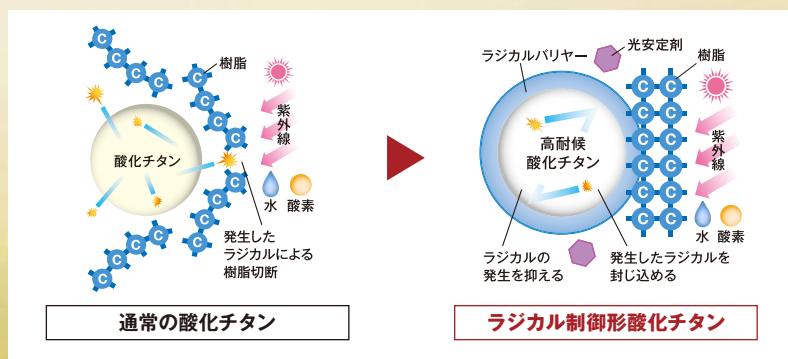
セラミックハイブリッド無機系塗料とは？

無機塗料は紫外線に強く、高い光沢と不燃性が特長ですがその反面、塗膜の柔軟性を発揮しにくいという性質がありました。そこで無機の固い部分と有機の柔軟部分をハイブリッド化することで「微弾性」の性能が発揮されます。さらに表層に配向した無機系成分②により、超低汚染性を発現します。パーフェクトシリーズ究極の高耐久塗料が完成しました。



紫外線に強い「ラジカル制御」技術

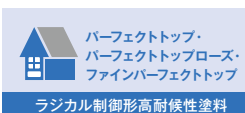
高耐候性酸化チタンと光安定剤によるW効果で、耐候性を高める「ラジカル制御」技術により、紫外線に強い強靱な塗膜を形成し、塗り立ての美しさを長期間保ちます。



パーフェクトシリーズのラジカル制御技術とセラミックハイブリッド技術を融合し、フッ素グレードを超え、パーフェクトシリーズより究極の塗料が誕生しました。

上塗り塗料の グレードレベル

(当社従来品比)



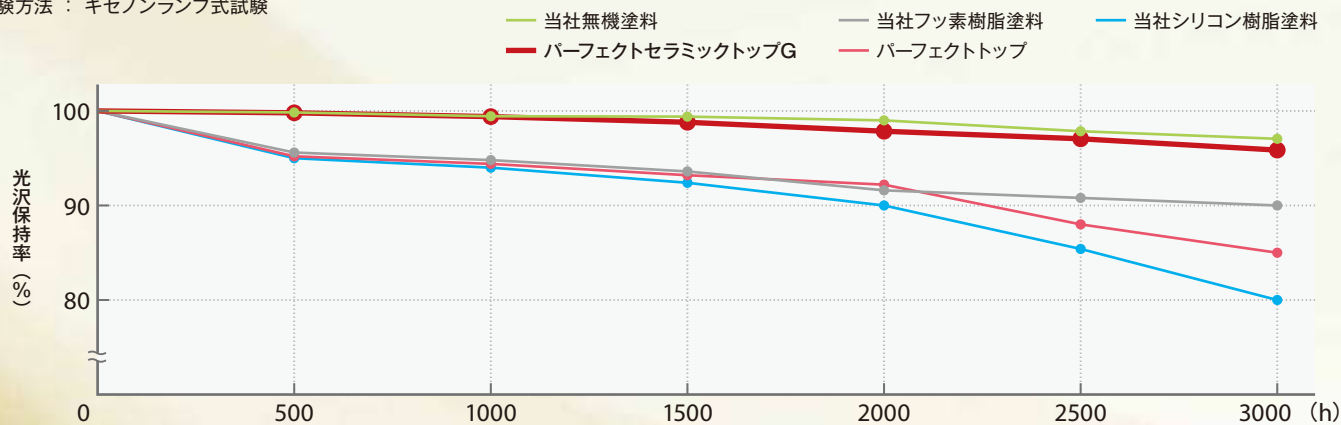
耐候性がよい

フッ素樹脂塗料を超える 超高耐候性「パーフェクトセラミックトップG」

パーフェクトセラミックトップGは、促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

促進耐候性試験

試験方法：キセノンランプ式試験



※上記の数値は実測値であり、性能を保証するものではありません。

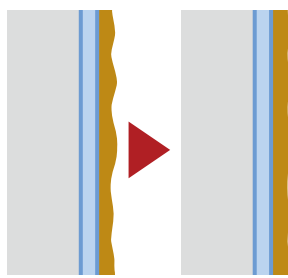
美しいつや

パーフェクトセラミックトップGは、専用中塗りと上塗りの高いレベリング性により、つやが優れています。

高いレベリング性

当社独自の粘性調整技術により、レベリング性（均一に平らになる力）を向上させ、美しいつやが得られます。

パーフェクトシリーズの下塗りとの組み合わせにより、さらに美しいつやになります。



塗膜表面塗料の顕微鏡拡大



パーフェクトセラミックトップG (つや有り)



一般水性シリコン塗料 (つや有り)

パーフェクトフィラー + パーフェクトセラミックトップG中塗り
+ パーフェクトセラミックトップG上塗り なみがた仕上げ

劣化現象例と最適な塗料の組み合わせ

※地域や色相により缶の意匠が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

| コンクリート・モルタル壁面 | 下塗り | 中塗り・上塗り | |
|---------------|---|---|---|
| ヘヤクラック、汚れ | 水性反応硬化形ソフトフィラー パーフェクトフィラー ひび割れ追従性に優れ、上塗りの吸い込みが少ないため、仕上がりが良くなります。ローラ一塗装が軽く、よく伸びる定番の下塗り塗料です。 | 弱溶剤2液高付着浸透形ハイブリッドエポキシシーラー ファインパーフェクトシーラー 透明・ホワイト 高い浸透性と含浸補強性を持つとともに高い付着力が発現します。 | 水性2液形セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料 パーフェクトセラミックトップG パーフェクトフィラー・ファインパーフェクトシーラーと組み合わせることで美しいつやのある仕上がりに。塗りたての美しさを長期間保つことができます。 |
| 窯業系サイディング壁面 | 窯業系サイディングボード改修用下塗材 パーフェクトサーフ 抜群の隠へい性能で、難しいとされる濃い色から淡い色への塗り替えにも最適です。 | 弱溶剤2液高付着浸透形ハイブリッドエポキシシーラー ファインパーフェクトシーラー 透明・ホワイト 窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。 | 水性2液形セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料 パーフェクトセラミックトップG パーフェクトサーフ・ファインパーフェクトシーラーと組み合わせることで、サイディングの意匠性を損なわず、発色に優れた仕上がりに。美しさを長期間保つことができます。 |

なみがた仕上げ

平滑仕上げ

超低汚染性

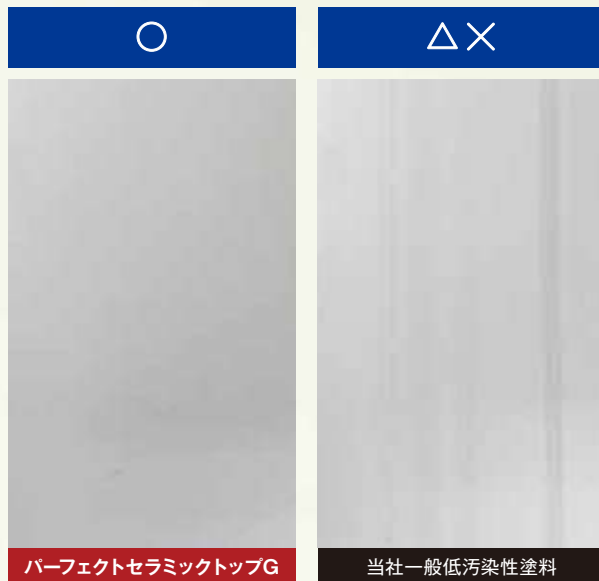
パーフェクトセラミックトップGは、「超低汚染性」(親水性機能)によって、建物外観に付着した汚れを雨とともに洗い流し、美観を維持することが可能です。

防汚性試験

試験方法：当社規格による雨だれ強制汚染試験(6ヶ月経過)

試験条件：(基材)スレート (下塗り)水性カチオンシーラー透明 (上塗り)各種上塗り

- 判定基準
- ：雨だれ汚染がほとんどない
 - △×：目立つ雨だれ汚染がある(濃い雨だれ汚染がある)



燃えにくい

パーフェクトセラミックトップGは、無機の特長から燃えにくい塗膜になります。

写真左：
パーフェクトセラミックトップG
を塗装した試験体

写真右：
当社一般水性塗料

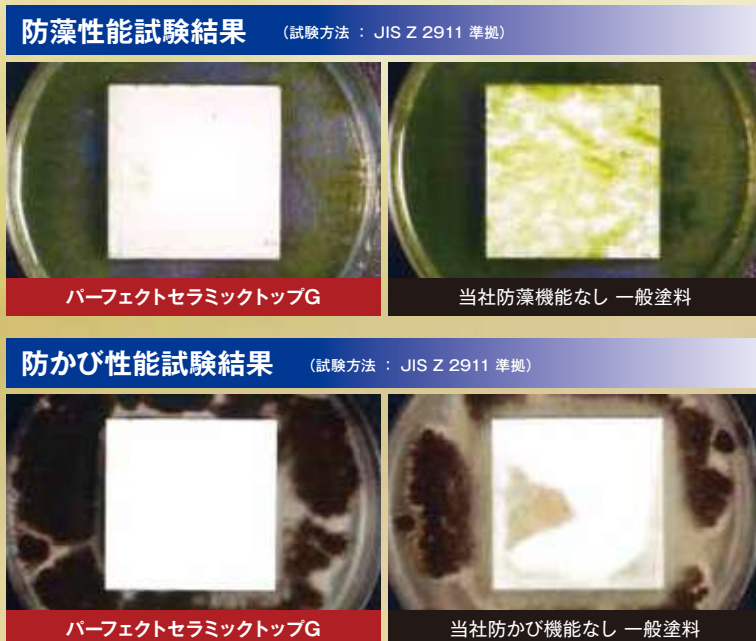


防藻・防かび機能

藻・かびの発生を抑制し、建物の美観と清潔な環境をまもります。オプションで強力防かびタイプを選択することもできます。

透湿性

透湿性があるため塗膜の膨れや剥離を抑制します。



■コンクリート、モルタル面

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------|---------------------------------------|------|----------------------------|----------------|-----|---------|---------------------|
| 下地改修処理 | 下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 | | | | | | |
| 下地調整 | ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。 | | | | | | |
| 下塗り | ニッペ パーフェクトフィラー | 1 | 0.20~0.45 | 4時間以上 | 水道水 | 3~8 | ウールローラー |
| | | | 0.50~0.90 | | | 1~5 | 砂骨ローラー |
| | | | | | | 2~5 | タイルガン |
| 中塗り | ニッペ パーフェクトセラミックトップG 中塗 | 1 | 0.14~0.17 | 3時間以上 | 水道水 | 5~10 | はけ、ウールローラー、エアレススプレー |
| 上塗り | ニッペ パーフェクトセラミックトップG | 1 | 0.14~0.17 | — | 水道水 | 5~10 | はけ、ウールローラー、エアレススプレー |

■窯業サイディングボード面

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間 (23℃) | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------|---------------------------------------|------|----------------------------|----------------|-----|---------|---------------------|
| 下地改修処理 | 下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 | | | | | | |
| 下地調整 | ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。 | | | | | | |
| 下塗り | ニッペ パーフェクトサーフ | 1 | 0.20~0.40 | 3時間以上 | 水道水 | 2~5 | はけ、ウールローラー |
| 中塗り | ニッペ パーフェクトセラミックトップG 中塗 | 1 | 0.14~0.17 | 3時間以上 | 水道水 | 5~10 | はけ、ウールローラー、エアレススプレー |
| 上塗り | ニッペ パーフェクトセラミックトップG | 1 | 0.14~0.17 | — | 水道水 | 5~10 | はけ、ウールローラー、エアレススプレー |

※フッ素及び無機コーティングした窯業サイディングボードの場合はニッペ ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

※ニッペ ファインパーフェクトシーラーは夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、中塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、中塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りをするか、ペーパーをかけるなどしてください。

※上塗り材と専用中塗り材では、耐候性・低汚染性などに差があります。上塗り材との区別のため、中塗り材の色相は、上塗り材のご指定色に対してわずかに淡彩側にずらした共色にて出荷いたします。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

適用下塗り塗料

- ニッペ パーフェクトフィラー
- ニッペ パーフェクトサーフ
- ニッペ ファインパーフェクトシーラー
- 水性カチオンシーラー
- アンダーフィラー弾性エクセル

適用下地 (塗り替え改修用)

- 窯業系サイディングボード
 - モルタル面
 - ALCパネル面
 - コンクリート面
- 各種旧塗膜の上
(高弾性タイプ除く)

塗料性状・荷姿

| 塗料名 | 色相 | つや | 容量 | ポットライフ |
|------------------------|----|--------------------------------|----------------------------|----------------|
| ニッペ パーフェクトセラミックトップG | 各色 | つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消し | 15kgセット (塗料14kg・硬化剤1kg) | 6時間以内 (23℃) |
| ニッペ パーフェクトセラミックトップG 中塗 | 各色 | つや有り | 15kg | — |

ニッペ パーフェクトセラミックトップG

施工上の要点及び注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 中塗りは必ず専用中塗りをご使用ください。
2. つや調整品を使用する場合は上塗り1（中塗り）に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
3. 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
4. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
5. 過剰希釈をするとは本来のつやが再現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
6. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
7. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かき混ぜながらご使用ください。
8. 防藻・防カビ効果も、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として殺菌処理を行って下塗り塗装してください。
9. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れられない場合があります。
10. 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
11. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
12. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
13. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
14. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけんで洗浄してください。
15. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗むらの原因になります。
16. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
17. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後はできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
18. 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
19. 旧塗膜に発生した藻・カビは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
20. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。

21. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
22. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
23. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
24. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツト科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツト科学社製H1500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
25. 表面のごみ、ほこり、エプロレッション、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
26. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペファイバー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
27. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
28. 素材にセメント成分が使われている場合は、エプロレッションが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
29. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
30. 開口後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保護してください。
31. 塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどで、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
32. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
33. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
34. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
35. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
36. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
37. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、シーリング材のプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
38. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
39. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定

- 範囲を超えて希釈しないでください。
40. 上塗りに付えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に付えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れできない場合があるため、事前に試験施工し塗り板等で確認してください。
41. 上塗りは1回仕上げですので原則的に中塗りは共色で塗装してください。特に付えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は必ず中塗りを共色塗装してください。
42. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
43. 濃彩色や付えた色相の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリーヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や浸みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
44. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
45. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
46. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
47. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
48. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
49. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
50. 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けさせていただきます。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
51. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
52. 塗料は内容物が均一になるようにかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
53. 開封後は一度は使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
54. 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に变色したように見える場合があります。
55. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
56. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ パーフェクトセラミックトップG ホワイト 塗料液

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入力してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
5. 必要時以外、環境への放出を避けてください。
6. 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
7. 口をすくいでください。
8. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
9. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
11. はく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けてください。
12. 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けてください。
13. 施設にて保管してください。
14. 直射日光や水濡れは厳禁です。
15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にはく露しないでください。
17. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

ニッペ パーフェクトセラミックトップG 硬化剤

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入力してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
5. 容器を密閉しておいてください。
6. 容器を接地/アースをとってください。
7. 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用してください。
8. 火花を発生させない工具を使用してください。
9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
11. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
12. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
13. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
14. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
15. 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
16. 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。
17. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
18. 口をすくいでください。
19. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を強った容器に保管してください。
20. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。

21. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
22. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
23. はく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けてください。
24. 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断/手当てを受けてください。
25. 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けてください。
26. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
27. 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。
28. 施設にて保管してください。
29. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
30. 直射日光や水濡れは厳禁です。
31. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
32. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にはく露しないでください。
33. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
34. 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すことと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

| 危険 | 危険有害性情報 |
|----|--|
| | 強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれ/水生生物に有害/長期継続的影響によって水生生物に有害 |

| 危険 | 危険有害性情報 |
|----|---|
| | 引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入すると有害/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に有害 |

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<https://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.
NP-V013

AA170610T
2017年6月現在

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2017 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.